

令和2年5月25日

第5回（5月）

定例教育委員会会議録

荒尾市教育委員会

令和2年5月 定例教育委員会 議事録

1. 日 時 令和2年5月25日（月）10時00分

2. 場 所 51号会議室

3. 出席委員

教育長	浦部 眞
委員	境 民子
委員	西尾 直子
委員	旭田 國浩
委員	渡邊 義専

4. 出席事務局職員

教育次長兼教育振興課長	橋本 張幸	学校教育課長兼教育審議員	永杉 尚久
生涯学習課長	宮脇 浩司	指導主事	大塚 真史
指導主事	成瀬 典子	指導主事	溜淵 知昭
教育政策係長	吉村 麗月	社会教育係長	馬場 理恵子

- 教育長 ○開会宣言 令和2年5月25日（月）10時00分
 ○会議成立の確認（全員出席）
 ○議題、会議の日程等の承認
 ○会議録署名委員の指名（旭田委員）

1. 前々回会議録の承認（境委員）
2. 議案

【議第17号 荒尾市教育委員会事務局の組織に関する規則等の一部を改正する規則について（教育振興課）】

- 事務局説明
- 質疑

委員	教育委員会事務局の組織に関する規則第2条の組織について、学校教育課が空欄となっているのはなぜか。
事務局	学校教育課は教育審議員と指導主事から構成される係がない課であるため空欄となっている。

【議第18号 荒尾市教育委員会事務局処務規程及び荒尾市教育委員会事務局事務決裁規程の一部を改正する訓令について（教育振興課）】

- 事務局説明
- 質疑

各委員	特になし
-----	------

【議第19号 荒尾市学校評議員の委嘱について（教育振興課）】

- 事務局説明
- 質疑

各委員	特になし
教育長	補足で、一小・緑ヶ丘小・桜山小の3校については、既に国版の学校運営協議会を導入しているため、学校評議員の委嘱はない。ここに記載されている学校については、今後、国版の学校運営協議会に移行していく。

【議第20号 荒尾市教育委員会適応指導教室設置要綱の一部を改正する告示について（学校教育課）】

- 事務局説明
- 質疑

委員 事務局	小岱教室とハートフル教室には何名の生徒がいるのか。 小岱教室は、6名であるが、内1名については、ほぼ学校に通える状況であるので実際は5名。ハートフルルームについては、まだ設置されたばかりであるのと休校でもあるため未確定ではあるが、7名程度利用する予定。
委員	テレビで見たものであるが、広島県の教育長が現職の中学校長であった時に、生徒が自由にハートフルルームのような場所に登校することができるようにし不登校が解消されたのを見てよい取り組みだと思ったところ。三中にできるのはとても有り難いが、海陽中や四中のこれから先の見通しはどのようなのか。
事務局	今年度は研究指定ということで三中に設置し、成果をみながら効果があれば海陽中や四中に、その後小学校へと広げていければと考えている。昨年の9月に、広島県福山市の小学校と中学校をそれぞれ実際に視察した。委員が話をされたのと同様な運用がされており、不登校の改善実績も多いとのこと、今回、本市での新規設置の参考とした。今後は、成果をしっかりとだしてほかの学校に広めていきたいと考えている。
委員 事務局	入室手続きを明文化してあるが、子どもの実態に応じて移動できるのか。書類は出してもらおうが、移動は可能。子どもたちの状態に合わせて柔軟に対応できるようにしている。
委員	ゆくゆくは、各校に広げていくとのことだが、小岱教室の存在も大切だと思う。中学校に行くことができない子が行くことができる場所も必要。子どもの状態に応じたきめ細やかな対応はすべきである。子どもたちには色々なことを学んでほしい。いい取り組みになることを期待する。

【議第21号 荒尾市特別支援連携協議会委員の委嘱について（学校教育課）】

○事務局説明

○質疑

各委員	特になし
-----	------

【その他 新型コロナウイルス感染症に対する小中学校の取り組みについて】

○事務局報告

○質問

委員	2ページの③夏季休業について、6月の土曜授業はなしとなっているが、第2波の到来も考えると土曜授業はあるだろう夏休みは難しいだろうと思われるところ。この時数で学年の教育課程は大丈夫なのか。
事務局	今、お示した期間であれば、時数は足りると確認はとれているが、これ以上休業が入れば時数は足りなくなる。
委員	3ヶ月分の空白が11日では補えないと思うがどうか。

事務局	<p>一般の年間の教課指導計画でいけば、時数的に難しいところもあるが、休業期間中に学校の先生方に、年間指導計画で例えば5時間のところを3時間に短縮するなど取扱いの見直しの計画をしていただいている。できるだけ、再開後は子どもたちの様子をみながら、4月・5月のブランクを取り戻せるよう対応していきたいと考えている。</p>
委員	<p>今回の休校というのは、基準は決められているのか。例えば荒尾市で感染者が発生した場合、玉名市で発生した場合、熊本県で発生した場合にこうするとかいう基準は。</p>
事務局	<p>今回、本市がとった休校については、熊本県教育委員会の指針を基に実施した。学校再開についても、県教委の指針に基づき、それぞれの地域に沿った対応をしている。資料にあるようそれぞれの学校で感染者等が発生した場合は、休校になるとしている。また、市内の感染状況も見ながら柔軟な対応を検討していく。</p>
委員	<p>今回の休校中に、子どもがずっと家にいて遊びにも行けないし、友達とも遊べないし、学校にも行けない状態で、それは仕方ないと理解はしているが、地域によってもっとやり方があってよかったのではないかと思った。例えば、分散登校をもっと分散させるとか、感染者が出ていない地域は登校させるとか、県教委の指針に全部合わせなくてもいいのではないか。本市の休校中の学力向上のやり方は課題のプリントをやっていく。しかし、熊本市ではオンライン授業を実施。オンライン授業が全ていいとは思わないが、授業風景をDVDに撮って子どもたちに渡すとかそういうのはできるだろうし、分散登校もできるし、それぞれ学校に応じて今年度もオンリーワンの学校づくりを荒尾市は推進しているので、学校に応じてそれぞれのやり方で全部統一させなくてもよかったのではないかと思ったところ。</p>
委員	<p>同意見。大阪府の吉村知事が府民の信頼を得ているのは、上からのお達しを待っているのではなく、足元をみて実践されているように見える。荒尾も地域によって学校の密具合とかに応じて「荒尾モデル」を作ってもよいのではないか。今日も学校預かりがあっていたが、希望者だけではなく1日2時間だけでも登校させて、普段できない読書指導とか縄跳びのカードを作って、1日どれくらいしたとかここまでとの目標に向けてカードなどがあると励みになるのではないか。学校訪問をすると図工の時数が減ってきているからか、以前より絵が雑になっている。たっぷり時間をかけて模写でもいいからやってみると自分でもこれだけできるんだと自信に繋がるのではないか。今だからできるようなことを子どもに導けないだろうか。また、今回の休校で私立と公立の学力格差を頻繁に耳にするが、公立学校の子どもたちにもしっかり力をつけたいと思い取り組んでいる。それを荒尾の保護者が不安にならないように、オンライン授業がなければ差が開くといわれるが、オンライン授業がなくてもできると示したい。</p>
事務局	<p>一つだけ紹介すると、FM たんとで中学校の先生とALTが工夫して指導主事が担当して取り組んだものもある。また、それぞれの学校においては、学力が</p>

委員	つくことができるような取り組みを工夫している。
事務局	先生たちも学校に応じた個性をもっと休校中に出してほしかったと残念に思う。もしまた休校になる時は是非これだけ荒尾市でそれぞれに応じて教育において素晴らしいことをされているので、実践してもらいたい。最後に、運動会はもうしないのか。
委員	5月の運動会は中止したが、9月以降感染状況をみながら、それぞれの学校でスポーツ大会など人があまり密集しないように工夫するなどして計画を検討しているところもあると聞いている。それぞれの学校の事情もあるので、どのような形で開催するのかは不確定。
委員	運動会というのは、子どもにとっても親にとっても特別な思い出に残るものなので何らか別の形でも実施してもらえたらと思い質問した。
委員 事務局	3カ月に及ぶ長期休校中に何らかの事故等はなかったのか。 何回か子どもたちが集まっているがいいのかとの市民からの連絡はあったが、大きな事故等はなかった。
委員 事務局	家庭訪問はどのようにしたのか。 このような状況なので家の中には上がらず、玄関先で実施し、また、休業中は繰り返し子どもの様子確認などで家庭訪問を実施したと聞いている。
委員	今回、学童で4月1日から新1年生を見ていた時に、本当に先生たちは大変だろうなというお子さんたちがたくさん入ってきた。例えば、30人学級に入ったときに今まで学校に行けていなかったの、落ち着いて、授業を受けることができるのか心配している。もしできるのであれば、少人数学級を低学年でも取り入れることで、スイッチが入れられずになかなか参加できない子どもにも受け入れやすいのではないかと。きめ細やかな対応をお願いしたい。
教育長	それぞれの学校には、ある程度の枠はあるが、休業中にできることは思い切ってやっていいと伝えていた。例えば、一つの中学校は子どもたちを5つのグループに分けて、毎日呼んで毎日学習を実施した。教師によっては、同じメニューを5回することになるが、そのような取り組みを実施している学校もあった。また、実際、ある学校では動画を撮ってホームページに掲載した。自宅でWi-Fi環境が整わない場合は、登校時に見せることを検討したりもされていたことをお知らせする。 最後に、今いただいたご意見は、明日の臨時校長会議でも伝えたい。

【その他 教育委員会学校訪問について】

○事務局説明

○質問

各委員	特になし
-----	------

【その他 6月行事予定について】

○事務局説明

○質問

委員	中学校学力向上対策研修会は中止となっているが、今だから大事なのではないかという気がするがどうか。
事務局	こちらは教育事務所主催の研修で大事なことではあるが、30人以上となるため感染拡大防止の観点から中止となったもの。
教育長	6月の多人数が集まる行事は、ほとんどというか全て中止となっている状況。委員の皆さまが出席されていた行事もほとんど中止となっているのが現状。

【その他 次回定例教育委員会の日程について】

○事務局提案

事務局	次回の第6回定例教育委員会は6月26日（金）10時00分から開催したいと思います。
各委員	異議なし。
教育長	それでは、次回の第6回定例教育委員会は6月26日（金）10時00分から開催します。議会の関係で日程変更となる場合は改めて連絡します。

教育長

○閉会宣言 令和2年5月25日（月）11時10分